

「通り名で道案内システム」実施社会実験

津和野町津和野地区は、年間 100 万人の観光客が訪れる島根県内でも有数の観光地です。

近年の観光客の動向は、山口県萩市とともに、観光パッケージツアーとして来訪する観光客が多く、限られた時間内で観光周遊をする来訪者が多くなっています。

また、津和野観光のメインストリートとなっている、「殿町通り」をはじめとして、「本町通り」「祇園丁通り」「駅通り」「高岡通り」という定着した「通り名」が存在し、これらの通り沿いには観光客向けの商店や文化施設等が多く存在しています。

このような状況を踏まえ、観光客が限られた時間内で効率的に観光を楽しみ、さらにもう一足周遊の範囲を拡げてもらえるよう、観光施設の位置情報をわかりやすく提供し、地域住民が誰でも観光施設の場所の説明をしやすくすることを目的とし、通り名で道案内の社会実験を実施しました。



通り名で道案内マップ



←クリックでPDF(OOMB)がダウンロードできます。

現地に「通り名で道案内」総合案内看板(右写真)を設置し、マップが無くても目的地の通り名と位置番号を確認できるようにしました。

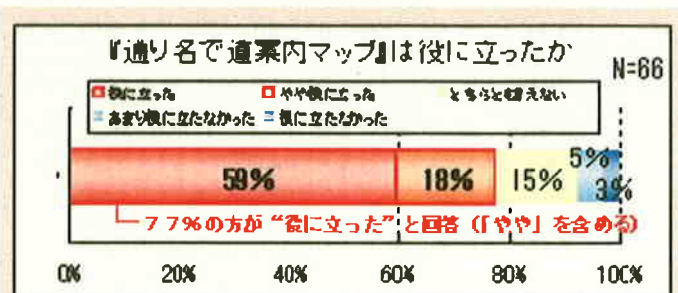


ヒアリング調査結果

社会実験に対する評価を把握するため、来訪した観光客に対するアンケート調査を行いました。

1. 実施期間 : 平成 19 年 11 月 23 日~25 日
2. 実施方法 : 調査員による現地でのインタビュー
3. サンプル数: 各グラフに記載

■通り名で道案内の取組みについて、77%の方が「役に立った」、「やや役に立った」と回答■



■通り名マップの分かりやすさについても 56%の方が「分かりやすかった」と回答■

